

審 議 経 過

■市長挨拶 要約

500億円を超える市債については、令和5年度までに99億円を削減し、基金残額も45億円から114億円まで改善しているが、将来負担比率は課題として残っており、改善したからと言って安易な支出はできない。以前は大きな負担であった工業用水をはじめ、多くの企業会計が黒字に転換した。ただし、病院事業の会計は依然として赤字が続いている状況となっている。

伊万里市の工業出荷額は令和4年時点で4,598億円に達し、佐賀県全体の約2割を占める。市外からの通勤者が多く、昼間人口は約1万人増加していると推計され、交通渋滞の一因となっている。

財政基盤が安定したことにより、これまでは困難だった高校生までの医療費助成などが実現可能になった。

今後は、国見台公園総合整備や子どもから高齢者までが利用できる複合施設の建設など、「伊万里市の魅力づくり」に注力していく。

行政改革推進会議という形は一旦終わりとなるが、20年にわたる行政改革推進員の皆さまからのご協力によって、先ほどお話しした行財政運営の健全化や各種支援事業、施設の整備などの取組が達成できた。

これまでのお力添えに感謝申し上げます。

■栗林会長挨拶 要約

改革という言葉について考えると、新しい仕組みをつくることや、変化していくことを意味していると思う。この20年の間に、情報・人・モノの流通においては目まぐるしい変化が見られた。近年では、変化そのものが日常の一部となっており、行政改革の取組も定着したことで、大綱の策定や推進会議の開催といった取り組みをわざわざ行う必要がなくなっている。そうした点から見ても、今回の行政改革の取組を一区切りとすることは、時代の流れに適っているのではないかと感じている。今回が最後の会議となるが、改めて皆様からご意見を伺いたいと思う。

■事務局から会議次第の2 報告について説明

質疑等無し

■事務局から会議次第の3 審議（1）から（4）について説明

【質疑における主な意見】

【取組No. 24】

（A委員）DX推進については、電子申請等をできない人が多い。手続きに関しての案内、導線を検討いただきたい。

（事務局）電子申請の利用については問題ととらえており、周知方法を含め、先進事例を参考に改善したいと考えている。

【取組No. 34】

（A委員）多文化共生について、伊万里市でも外国人の技能実習生が増加しており、レクリエーション活動だけでなく、日本語教室を充実させる、地域のルールを守るためのセミナーなど、日本の文化に馴染めるような取組みを推進してもらいたい。外国人雇用については、事業所が人件費が安く済むと勘違いしがちで、外国人を技能実習として受け入れるのにはコストもかかるし、生活その他の面倒を見る必要もある。今後、技能実習制度に代わって育成就労制度が施行されることになるが、そうなれば転職が可能となり、伊万里を足掛かりに都市部へ流出する懸念もある。このような問題に今から取り組むべきと考える。

（事務局）市では多文化共生マネージャーという専任担当者がおり、例えばインドネシアの実習生については、宗教上問題となるような食べ物に関する注意喚起や対象となる文字についてのサポートなど、日本語についての指導や、公共交通機関の利用方法などの側面的支援は実施しているが、委員の話聞き、今後はさらに生活しやすい環境をつくるためにサポートを充実させる必要があると感じた。

（A委員）外国人実習生については日々の生活の中で、小さな問題が積み重なることがある。県では複数部門の相談員がいて、一元的に問題解決できるような相談窓口がある。

（事務局）実習生が多い黒川町のコミュニティセンターでは多言語翻訳機を設置して

いるが、県の国際交流協会に協力を依頼し、一元的に相談ができる出張会場を設けることもお願いしてみたいと思う。

(B委員) 言葉や文化理解の重要性は実体験もあり理解しており、人口減少に伴う教育・交通・医療・買い物など地域課題への不安も感じている。今後は市民や行政が協力して将来に備える必要があると考えている。また、男女共同参画や多様性の視点を踏まえ、市民の声を反映できる仕組みづくりを求めたい。

(C委員) 大学での多文化交流の現状として、留学生を受け入れる際に、母国での情報コミュニティが存在し、自治体情報などを共有している。今後、技能実習制度が変わり、伊万里市の情報が共有された際に他自治体と比較されることによって「伊万里市から流出する」可能性も高まる。先を見据えて、様々な支援の充実、地域に愛着を持ってもらい、安心して定住できるような政策が必要と考える。

(A委員) 佐賀県は全国一自然災害が少ないといわれているし、外国人労働者定住に向けて活用されてはどうか。

(事務局) 了解しました。

(事務局) 本日は長時間にわたり貴重なご意見を賜り、心より御礼申し上げます。人口減少やDX、外国人との共生、公共施設再編など多様な課題に取り組みつつ、市民サービスの向上と業務の効率化を進めてまいります。本日ご参加の皆さま、歴代委員の皆さまに改めて感謝申し上げます、閉会のご挨拶といたします。

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。